

株式会社～様

アイセックのインターンシッププログラムを受け入れによるプロモーション例



アイセック慶應義塾大学委員会
坂田光一郎

アイセックの学生ネットワーク

全国主要大学の学生約1000名が参加！



国内の大学委員会

- | | | |
|--|---|---|
| <p>【関東地区】
 東京大学委員会
 一橋大学委員会
 早稲田大学委員会
 慶應義塾大学委員会
 上智大学委員会
 青山学院大学委員会
 立教大学委員会
 中央大学委員会
 慶應湘南藤沢委員会
 明治大学委員会
 筑波大学委員会</p> | <p>【中部地区】
 名古屋大学委員会
 南山大学委員会
 名古屋市立大学委員会

 【関西・中国地区】
 滋賀大学委員会
 京都大学委員会
 同志社大学委員会
 大阪大学委員会
 大阪市立大学委員会
 神戸大学委員会
 関西学院大学委員会</p> | <p>【北海道地区】
 北海道委員会

 【東北地区】
 仙台委員会

 【九州地区】
 福岡委員会</p> |
|--|---|---|

アイセックの企業ネットワーク

National Sponsors Group 2008



近年の受入企業例

近年受け入れていただいた企業様から、一部を抜粋し掲載。
これまでに、1000以上の企業様にご協力頂いております。

製造業

オムロン株式会社
 キヤノン株式会社
 株式会社日立製作所

IT・ソフトウェア通信

ソフトバンクテレコム株式会社
 リアルコム株式会社

サービス・コンサルティング

中部電力株式会社
 キッズコーポレーション
 アサツDK

その他

文京区教育委員会
 野村信託銀行株式会社

◆パートナーシップの有用性と効果

■アイセック慶應義塾大学委員会の有用性

慶應義塾大学学生を中心とした、全国の意識の高い学生とのチャネル構築

■大学内での広報

✓新歓のビラへのロゴ・紹介分掲載

→昨年度5,000部のビラを慶應義塾大学学生に対して配布。

✓全国のアイセックの学生メーリングリストへの記事の投稿

→全国約1,000名の登録のあるメーリングリストへの投稿。

■御社へのメリット

- ▶アイセック内外の大学生ネットワークへのコンタクト
 - ▶御社の学生への知名度向上
 - ▶ステークホルダーズの皆様への知名度向上

■学生へのメリット

- ▶海外インターンシップ参加へのきっかけ
- ▶将来のキャリア形成への一助

◆ 関係構築による具体的効果 ～ 広報展開の場のご提供～

▶ アニュアルレポート

御社のロゴを掲載いたします。
関係企業、関係団体等に、年に200部程度配布致します。

▶ 新入生向けパンフレット

御社のロゴを掲載いたします。
4、5月の新入生勧誘時期に、新一年生対象に配布致します。2010年度は800名以上の新入生に対して配布いたしました。

▶ 海外インターンシップ説明会

説明会参加者に対してPRを行うことが可能となります。
この説明会は、アイセックを通じて海外インターンシップを行うことを希望する大学生を対象とするもので、年十回ほど行われています。一回あたりの参加者は30名程度であり、計300名程度が参加しております。

▶ メールマガジン

メールマガジンを利用して、御社のPRを行うことが可能です。
このメールマガジンはアイセック慶應義塾大学委員会が海外インターンシップを希望している学生等に対して発行しているものであり、現在180名ほどが加入しております。

企業の評価指標の一つとして、国際性や社会貢献性が定着しつつあります。その中でも、これから就職活動をはじめめる学生は**国際性**を企業選定の大きな判断基準としています。また海外インターンシップ受け入れを通じて、若者への成長の機会を創出という面においてアイセックメンバーをはじめ、ステークホルダーズの皆様方に**社会貢献**という形でもアピールすることができます。

イベントで学生、企業様にアピール！

実例



国立オリンピックセンターの講堂を貸し切りアイセックメンバー、ステークホルダーズの方々をお招きして行われたNational Awardでの風景

National Awardだけではなくインターン生のためのレセプションや海外インターンシップ報告会など、インターン生、アイセックメンバー、その他学生や外部団体、他企業様を巻き込んだ形で様々なイベントを企画しており、受け入れ企業の方にも積極的にご参加いただいています。